

学校運営協議会&地域学校協働活動だより

(第1回合同会の内容報告)

南関町教育委員会教育課

南関町の各小中学校に学校運営協議会が設置され6年目を迎えました。昨年度から地域学校協働活動(学校応援団)等との一体的推進を図るため、両組織の会議を合同で実施しており、本年度の第1回目の合同会議を6月20日(月)に南の関うから館で開催しました。五者(学校・家庭・地域・子ども・行政)連携での、「Society5を生きる人や町づくり」や「南関町学校教育基本方針」を見据え、課題を挙げるだけでなく課題解決のための対応が伴う活動となるよう取り組んでいます。

「めざす南関町の子ども像

- 1 町を誇りに思い ふるさを愛する子ども
- 2 明るくたくましく 元気にあいさつできる子ども
- 3 思いやりの心もち 自分の考えを伝えられる子ども
- 4 夢に向かって 自ら学び挑戦する子ども

*特に、学校では『自分の考えを表現する力』を鍛え、『難関突破力』を育みます。

合同会議には、五者に関わる学校や家庭・地域・行政の代表者の皆様、特に各小中学校のPTAからは「学力向上部」「心づくり部」「体づくり部」「環境充実部」の四つの部会に参加いただき、五者との連携がさらに深められています。これらの体制により、下の写真にもありますような、子どもたちへのたくさんの支援をいただいています。



第1回合同会



読み聞かせ



丸付け

町
づくりは
人
づくりから



田植え



ミシン縫い



通学路の探索

会長あいさつ（谷口教育長）

昨年度からこのような形での合同会議を開催し、「めざす南関町の子ども像」の確認、あるいは、学力向上部・心づくり部・体づくり部・環境充実部の4部会でアクションプランを決め、その取組みの充実を目指しているところです。

コロナ禍も3年目となる状況で3月の卒業式・4月の入学式は、この2年間限られたご来賓の皆様を招き、子どもたちの卒業・入学の祝いを実施しました。本年度においては、中学校の体育大会も5月の通常のと時期に戻し、午後までの競技をやり遂げることができ、小学校も午前中だけでしたが、コロナ感染に配慮しながら子どもたちが精いっぱい頑張る姿を見ることができました。子どもたちには行事を通して育つ力もあり、学校行事等はコロナ禍でも工夫をしながら実施していく必要があると再確認したところです。

昨年度で1人1台のタブレット端末の環境整備が整い、機器の便利さを味わう教育活動・教育改革2年目の本年度を迎えています。子どもたちは、最先端のパソコン等を使った授業には高い関心や適応度合いを示します。ただ、町の子どものためのスマホやゲーム機器の所持率はとても高く、小学3年生以上では80%を超え、中学生も94%と高くなっていますが、家庭で使い方のルールを決めている割合は、逆に低くなっている課題もあります。

「早寝・早起き・朝ごはん」の定着に向けて、幼児期・小学校低学年の調査をしてみると、午後10時前の就寝ができていないという課題があります。朝食の摂取率も90%台の高い状況にはありますが、健やかな学びの基盤となるきちんとした朝ごはんを食べていない子どもも増加傾向にあります。

子どもたちの生活環境の改善に繋がる取組みも、集まれた皆様のお知恵をいただきながら進めていけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



2 事務局からの説明

(1) 朝食づくりの動画視聴

食事作りは生きるチカラ
みそ玉と杏仁豆腐に
チャレンジ
朝ごはんを食べよう
プロジェクト

誰にでも簡単にできる「朝食作り」の動画を紹介します

みそ玉 8個分	
【材料】	
*味噌	100g
*だしパック1袋	約8g
※粉末だしの煮でもよい	
*乾燥貝	大さじ2
*南関あげ	適量

杏仁豆腐 4個分	
【材料】	
*マシュマロ	65g
*水	50cc
*牛乳	170cc
*アーモンドエッセンス	20滴

昨年度の体づくり部で協議し、地域の山口さんに料理のご指導、村上さんに撮影と編集、チラシ作成を橋本さんにご協力いただき完成しました朝食づくりの動画「みそ玉」の紹介をしました。チラシのQRコードを読み取っていただくと再生できますので、時間があられるときに「杏仁豆腐」も是非ご視聴されてください。

朝食づくりに関連したお知らせ

児童・生徒の健康状態や生活面での課題解決に向けて取り組んでおられる南関町学校保健委員会から、動画視聴のお願いがありました。内容は、「早寝・早起き・朝ごはん」に関する28分程度のものです。配信期間は、7月30日(土)から8月15日(月)の17日間で、町内各学校のホームページからパスワード等不要で視聴できます。

『脳と心を育む生活リズム』



熊本大学医学部附属病院小児科

上土井 貴子 医師

長年にわたり、熊本県下の学校で、「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さを講演されています。お子様の健やかな成長を願わない親はいません。ではどのように育てればいいのでしょうか。生活リズムを整えると、友達関係も良くなり幸せになれる・・・？ いったいなぜ・・・？
お子様の幸せに直結した内容で、お徳感満載です。この機会に是非ご視聴ください。

(2) 本日の協議についての説明

- ① 昨年度はコロナ禍で活動が十分にできていないため、昨年度の具体的実践事項に本年度も継続して取り組むことを確認しました。
- ② 次にその「具体的実践事項」とは、どんな内容なのかを確認しました。
- ③ 学校ごとに班をつくり、学校の実態に応じて「具体的実践事項」の「実働」に向けての協議を進めてもらうことを確認しました。

当日のプレゼン

次に、この後の協議についてご説明いたします。

コロナ禍

簡潔に言うと

コロナ禍

- ①昨年度はコロナ禍で活動が十分にできていないため、昨年度の「具体的実践事項」に本年度も継続して取り組むことを確認する。
- ②具体的実践事項とは、どんな内容なのかを理解する。
- ③学校毎の実態に応じて具体的実践事項の実働に向けての協議を進める。

南関町立南関第一小学校

Action Plan 協議の柱 A の具体的実践事項

<学力向上部>

⑩○タブレットの活用は校内研修の内容でもあり、全学年の児童を対象にタブレットを使った授業を展開している。また、全学年の児童がタブレットを家庭に持ち帰った後も活用できるよう指導に努める。

⑪上級生は、タブレットを持ち帰って取り扱いもできている。

校長：町での取り決めで3年生以上の児童が持ち帰り OK となっており、3年生以上は、家庭で「算数チャレンジ」に取り組んでいる。タブレットを持ち帰らせるときはタブレットを落とさないように、持ち帰る学用品の重さにも考慮している。

活用支援：紙媒体でしかできないもの以外は、タブレットにしてよいと思われる。

自学での調べ学習にも利用させたい。

<心づくり部>

SNS の使い方：警察の協力を得て5・6年生を対象に研修会を行った。トラブル回避にも役立った。

○児童が家庭で動画配信を受けられるようにしたいが、やや難しい状況にある。

○校医からの研修会を今年度は動画配信で検討している。

- ・授業参観時などに配信してもらうのがいい。

- ・安心メールにQRコードを付けて動画配信をする。

○行き渋りなど不登校の定義に該当する児童がいるが、校内でも対策チームを作って対応した。保護者の関わりもあり不登校にならずに済んでいる。

○学校保健委員会から朝食を取ることの大切さを学習できる動画の配信がある。

<環境充実部>

⑫一小的課題：剪定した草木の処理は、有志だけでなく業者に依頼してはどうか。木・枝・草を分別すると処理もしやすい。

○美化活動員を一人配置することができるならかなり変わってくる。

Action Plan 協議の柱 B の具体的実践事項

<体づくり部>

○ラジオ体操への参加

○毎週土曜日の子ども会へ児童も保護者も参加する。

<環境充実部>

○防犯パトロールは廃止し、PTA有志による買い物時などに見守りを実施している。

○PTA等、協力していただいた方が変わっても、途切れない取り組みが必要。

○美化作業を1ヶ月スパンと考え、学校運営協議会・PTA三役・地域の方が各自で作業日を設定できれば参加しやすい。この1ヶ月スパンでの美化作業を定期的実施する。

南関町立南関第二小学校

Action Plan 協議の柱 A の具体的実践事項

<学力向上部>

- 熊本日日新聞に第二小学校の子どもたちがたくさん掲載されるので嬉しい。どんな小さな事でもよいので紹介してほしい。
- 二小の児童全員がタブレットを使用すると、ストップしてしまうので対策が必要である。
- 欠席の子どもにタブレットを持たせたらどうか。
- リコーダーの練習にタブレットを活用できる。
- 3年生は、タブレットを始めて家に持ち帰るので有効活用ができるよう指導する。
- 運動会でも、タブレットを見て練習に取り組んでいた。

<心づくり部>

- 休日に友達同士のゲームでトラブルも発生しているので、SNS やタブレットに関する研修会を授業参観時などに取り入れる。
- 十分な睡眠をとらせるようにする。
- ノーメディアデーを小中連携で推進する。
- 地域のイベントである「ほたる祭り」や「ホタル音頭」などで交流の場を設定する。
- 「ホタル音頭」の伝承のためすでに5・6年生が取り組んでいるので継続する。
- 地域で竹とんぼづくりを行っているので交流させる。

<体づくり部>

- なんかっ子クラブに入り、いろんな体を動かすことにチャレンジする。
- Alifeなどと協力して活動する。
- 食に関する指導を行う。
- 体力向上のため運動場を走らせているので継続する。
- 味噌玉づくりを夏休みに体験させたい。味噌玉づくり認定証なども準備したらどうか。
- 朝食を取らない家庭や朝起きが遅くて朝食を食べれないという子どもへの対応が必要である。

<環境充実部>

- 丸美屋と二小の間の農免道路で、徒歩や自転車で行くと木などが邪魔になる所が2・3箇所あるので工場の方に木を切ってもらうようお願いをした。町外の方の所有地の場合が対応に困る。
- 学校の樹木の剪定は、これまで同様に町予算でもらっている。
- 今年度は、運動会前の運動場の美化作業（除草）を、PTA以外にも学校運営協議会委員の方や地域の方・町議員の方々に連絡を取り実施することができた。
- 朝の登校時間に、子どもたちと一緒に途中まで歩いているが、県道・町道の草刈りを日程を決めて草が伸びる前に実施してほしい。

南関町立南関第三小学校

Action Plan 協議の柱 A の具体的実践事項

<学力向上部>

- タブレットを用いた宿題を増やす。
- タブレットを使用するための理解や知識が保護者に不足しているので学ぶ場が欲しい。授業参観で親も一緒にタブレットを使ってみる。

<心づくり部>

- 学校では、心配なことがあれば話をしたり家庭連絡をするようにしている。
- 不登校の子どもに対しては、リモートで話ができるようにする。また、お手紙や先生による家庭訪問を実施するなど、学校と切れないようにしている。
- タブレットやスマホ等は、親が管理をする。また、宿題を終えてからなどの優先順位を決める。
- 長期休業中もノーメディアデーを設定する。
- スマホ等のメリットやデメリットを伝える。

<体づくり部>

- 毎日行っている健康チェックに、朝食を食べたという欄をつくる。
- 何時ごろにお腹がすくかなどを実体験させる。

<環境充実部>

- OB 会や OG 会等の方々が積極的に美化作業を行ってくださる。
- 気軽に参加できるよう、自由参加型の草刈りを実施する。
- 草刈りは、定期的に実施し、安全・安心メールを用いて呼びかける。

南関町立南関第四小学校

Action Plan 協議の柱 A の具体的実践事項

<学力向上部>

○四小の子どもたちのための児童クラブは、南集会所で実施されているが、Wi-Fiがないのでタブレットが使用できない。環境を整えてほしい。

<心づくり部>

- これまでの取り組みを継続する。
 - ・心のアンケートや教育相談
 - ・P T A 研修の実施
 - ・定期的なノーメディア週間の実施
 - ・支援が必要な家庭への組織的な対応

<体づくり部>

- 夏休み中は、ラジオ体操をする予定だが、登校日にもラジオ体操をする時間があったらどうか。
- 子ども会・婦人会・老人会でもラジオ体操を行う。
- 朝食を取らない子どもは0ではないので、朝食の有無のチェック欄をつくる。
- 味噌玉づくりの続編などがあったらどうか。
- 現在こども会では、毎週土曜日の午後3時から5時まで球技大会に向けてのソフトボールとビーチボールバレーの練習を行っている。

<環境充実部>

- エアコンの掃除は別会計から出せるのか。
(エアコンの点検・掃除は、業者をお願いしており、毎年1校ずつ学校を回っているため4・5年に1回程度の実施である。)
- 運動会前の美化作業では7～8割の作業が終了した。
- 除草や校内美化のための作業を、月に1回定地実施する。学校運営協議会委員やP T A・OB・地域の方にもお世話になっており、美化作業のチラシを区長便で回したい。
- 正門前の斜面のシート張りをお願いしたい。

南関町立南関中学校

Action Plan 協議の柱 A の具体的実践事項

<学力向上部>

- 学校では、今まで通りに授業中などの主体的な学習の道具としてタブレットを使用する。長期休業中やテスト勉強に関するドリルなども継続して指導する。
- メディアリテラシーの研修を親子で受けれたらどうか。

<心づくり部>

- 学校では、今まで通りに授業中などの主体的な学習の道具としてタブレットを使用する。長期休業中やテスト勉強に関するドリルなども継続して指導する。
- これまで実践してきたことを本年度も取り組む。
- 食事の時間がバラバラなので、せめて週末の夕ご飯を家族一緒にとろうと家族に呼び掛ける。

<体づくり部>

- 食の大切さを学習させる。
- 朝食を抜くことによる体のリスクを学習させる。
- 生徒に学校での野菜作りを体験させ、家庭分野での調理実習での食材とする。自分たちで栽培した野菜だときらいなものでも食べれるようになる。

<環境充実部>

- 除草作業への協力の呼び掛けを防災無線を用いて地域の方々に行う。
- 関係者が個人的に協力の依頼をする。
- 除草に用いる草刈り機の協力台数を増やすために、草刈り機持参の方には、お礼に刈刃を渡す。そのために資源回収をしっかり頑張り、その収益の一部を刈刃購入にあてる。

地域・町関係者

Action Plan 協議の柱 A の具体的実践事項

<学力向上部>

- スマホや SNS の使い方、電話の返し方等の講演会を行う学校もあった。
- 二小では荒尾市教育審議員村上教育主任による講演会を開催。各学校で外部講師を招き、保護者に対する講演会を実施している。

<心づくり部>

- 地域の方へ大人から挨拶を心がけてもらうように働きかけを行う。
- 下校時の防災無線の内容を子どもたちの温かい見守りの他、挨拶についても追加し、もう少し具体的なお願いに変更する。
- 現在、お誕生月に 75 歳以上の高齢者お一人暮らし宅へ民生委員さんが訪問される際、保育園児からのメッセージを添えた贈り物を届けていただいている。その中に小学生から直筆で見守りをお願いするメッセージを添えると良いのではないか。既存の活動にプラスすると取り組みやすい。(社会福祉協議会)
- ボランティア連絡協議会に所属されている老人会や婦人会等の各団体の総会や会議等で子どもたちの見守りに関しての現状を把握してもらい、協力依頼をする機会があれば、具体的な対策へつながるのではないか。(社会福祉協議会)
- ハガキを書く国語の授業等もあるので、地域の方へ日頃の感謝の気持ちを込めてお手紙を書くことの意識づけを授業の中で行う。行政から学校へ根回しをして、子ども達に主体性の学びの機会を与えられるようにする。なぜ地域の方へ見守りをお願いするのか、子ども達が現状やお願いする意味をしっかりと把握した上で取り組むことが必要である。
- 子ども民生員、子ども福祉協力員を取り入れる。
- 現在、中学生は高齢者お一人暮らし宅へ暑中見舞いを送っている。南関町喜ばせ隊で民生委員さんと実際に訪問し、小学生からの見守りのお願いメッセージを含めたお手紙を渡すような体制ができると良いのではないか。中学生は訪問、小学生はお手紙。

<体づくり部>

- 朝食の動画作成を行ったが、今後、子どもたちが少しでも故郷に興味をもってもらえるように郷土料理などの紹介もできたら良いのではないか。(教育課)
- 熊大の上土井先生による「なぜ生活リズムが大切なのか」という内容の動画(28分程度)を各学校のホームページで夏休み期間中に配信する予定である。保護者への周知、町全体で話題にして広げていきたい。
- 各学校にて毎朝提出の健康チェックシートには何を食べてきたのか内容まで把握するまでには至っていない。具合の悪い児童生徒へは個別で聞き取りをして把握しているが、全員に対して取り組むことはなかなか難しいところである。しかし、より良い内容の朝食を摂取してもらうよう何かしら働きかけは必要である。(養護部会)

<環境充実部>

- 防災無線はあくまでも防災情報、緊急を要する場合に用いるものである。防災無線で呼びかけるだけでなく、段階をおって最終的な手段として活用するのであれば問題はないのではないか。
- 地域学校協働本部や各推進員から地域の個人・団体へ文書や声掛けによる協力依頼の後、地域全体へ防災無線を通して呼びかけるような体制をつくる。今年度の運動会前の除草作業は、PTA だけでなく、学校運営協議会委員や OB の方、議員さん等たくさんの地域の方にお世話になった。今後も多くの団体に関わっていただけるようにボランティア連絡協議会等の組織との連携を図っていく。(教育課)

感想とお願いをいくつかさせていただきます。

- ① 本日この会に参加されておられるお一人お一人が、子どもの成長への思いがすごくあられ、子どもを大切にしておられるかたがこの会に参加されておられるという印象が伝わってきました。



- ② 事務局のほうからアクションという言葉がキーワードで出ておりましたが、子供たちの成長に向けてアクションを考えようというアクションへの思いがあらわれる会だと思いました。県内の他の会合にも参加しておりますが、あまりアクションまでの協議をされている地域は少ない状況があります。
- ③ 今日、部会でなく学校ごとの集まりで協議をされておりましたが、学校・PTA・地域等がチームとしてよくまとまっておられる。チーム南関という思いが伝わってきました。
- ④ 五者連携というお話も出ておりましたが、学校・家庭・地域・子ども・行政の五者で、すばらしいコミュニティー・スクールを目ざしておられる。家庭といえますかPTA・保護者の皆さんも発表を聞いていると本当に一生懸命取り組まれておられます。地域の取り組みもあり、行政も皆さんと一緒に歩んでいこうとされておられる。子どもも案山子コンクールや運動会前の児童によるボランティアの除草活動には、児童がお客さんにならず、5者で取り組むことができる町となっています。
- ⑤ これならやれるかなと思われたら、ぜひやってみてください。南関は五者連携での取り組みができる数少ない町なので、それぞれの立場で光り輝く町づくりを進めてください。

第2回目の合同会を楽しみにしています。今日はありがとうございました。

「地域学校協働活動」・「地域に開かれた教育課程」の実践

小学校6年生が12月頃に体験する陶芸教室の様子



役場に展示



1・2年生の保護者の方に
お世話になったマルチ張り



1・2年生の児童が植えたカライモの苗も
こんなに育ちました



地域の方にお世話になった田植



各小学校5年生へのかかしづくり説明会

各小学校の実行委員によるかかしコンクール実行委員会

運動会前の環境美化



ミシンの使い方のご支援をいただきました

